

— 社会福祉法人 あかぎ万葉 —

## 特別養護老人ホーム 時の花

流山市流山9-500-31

TEL:04-7128-6585 FAX:04-7128-6581



- 定員  
ユニット型個室60名  
ショートステイ10名
- アクセス  
流鉄流山線平和台駅より徒歩3分  
南流山駅から東武バス「城の星保育園前」より徒歩1分



理事長 中 登氏

### 流山市南部に初の特養、6月に運営開始 保育園児とふれあい、入居者に生き甲斐

子育て世帯が住み易い街として人気の流山市。だが、高齢化の波は確実に押し寄せる。高齢化率こそ千葉県内で低いものの、お年寄りの絶対数は増え続け、高齢者施設整備は喫緊の課題。こんな中、同市の南部では初となる特別養護老人ホームが6月、流山9丁目にオープンした。社会福祉法人あかぎ万葉の「時の花」。隣には、やはり同法人が運営する保育園が併設されており、園児と触れ合える日常が入居者の暮らしにハリを与えている。

#### 「流山の高齢者のため」の理念

流鉄流山線平和台駅から徒歩3分、すぐ隣にある保育園から園児たちの黄色い声が響く中、特養・時の花は静かな佇まいを見せる。入居定員は個室60床とショートステイ用個室10床。10床1ユニットごとに専任の介護スタッフが入居者のケアにあたる。ベッドを利用する入居者の睡眠状態や心拍データ、離起床の動きなどを遠隔操作で把握し、体調変化をチェックするシステムほか、効率的ケアのためのICT機器類も導入された。

あかぎ万葉の中登理事長（65）は国家公務員として障害者支援などの仕事に携わった後、「故郷の流山で、お年寄りを最後まで見守る施設を」と高齢者福祉の世界に飛び込んだ。1999年に軽費老人ホ



▲入浴は個々の身体状況に合わせて準備あり、他者に気を遣わずにゆっくりと入浴が出来る。



▲同生活室は入居者同士や職員と交流したり、ゆったりくつろげる生活空間。

ムから始めて25年。5月末現在で、流山市の北部に2、中部、東部に各1の計4棟の特養（地域密着型を含む）を運営する。流山市の南部では初の特養となる時の花を加えたことで、あかぎ万葉は市内全域での特養運営体制を整えた。

#### 特養・保育園併設によるケアの効用

あかぎ万葉の特養におけるケアサービスは、入居者と保育園児との交流が日常的に組み込まれている点に特色がある。同法人は流山市内で8保育所（分所も含む）も設けており、その多くを特養と同じ敷地内に併設してお年寄りや園児が日々ふれあえる。時の花は城の星第二保育園に隣り合わせており、近くに城の星保育園もある。

中理事長は「子供がそばに来ると、認知症のお年寄りが落ち着きを見せて元気になる。逆に、落ち込んだ様子の子供が高齢者と話す」と、明るい表情を取り戻す。これは見逃せない効果、とひらめき、特養と保育園の「セット運営」を進めてきた」と話す。

特養入居者と園児との昼食会では、高齢者は孫を見られるように園児を見守り、園児たちは苦みな食材が入った料理も完食するケースが増えた。卒園式に招かれる高齢者は、手作りの記念の首飾りを園児に渡すことを楽しみにしている。「介護スタッフでも簡単にはでき

#### 医療サポートや看取りケアを尽くす

「施設に預けるからには、お年寄りを世話したくてもできない事情がその家庭にあるから。それを私共が代わってケアし、最後までお世話を尽くす」。あかぎ万葉ではこの介護ビジョンを掲げ、時の花を含め、特養での医療サポートや看取りを引き受ける。

円滑な施設運営にはビジョンに共鳴してくれる人材を得た施設風土づくりが欠かせない。立ち上がったばかりの時の花には、他の特養から異動したベテラン介護士数名を配置し、スタッフたちの介護活動のまとめ役として活躍してもらっている。

「高齢者と園児たちとのふれあいを増やし、高齢者には生きる喜びを感じてもらい、園児には大人への尊敬の念を学んでもらう。自分の家族をみる気持ちで、お年寄りをケアし、子供たちに接していきたい」。

高齢者を見守る施設づくりの発願から四半世紀。「ある程度、願いを全うできたのでは」と話しながらも、中理事長は今、時の花の順調な「船出」のための施設内巡回と、スタッフたちとの話し合いに余念がない。流山を高齢者も住みやすい街にするための前進が続く。